

## 編集委員会からのお願い

### 1. 年報第一六集の原稿募集について

本会の年報「村落社会研究」は、共通課題の報告にもとづく論文

と自由論題の論文とによって編集されます。このうち自由論題の論文は、大会での自由発表にもとづく論文を含めて会員の投稿によるものです。次号の年報に投稿を希望される方は、次の要領で、大会当日までに編集委員会事務局（〒一八四小金井市貫井北町四十一）一、東京学芸大学社会学研究室、速見音彦（付）に御申込下さい。充実した年報の発行のためにふるって御応募下さるようお願いいたします。

- (1) 論文は四〇〇字詰原稿用紙八〇枚を原則とし、原稿提出の切は昭和五五年四月末日とします。
- (2) 申込にあたっては、論文題目（仮題でも可）に、四〇〇字前後の要旨をそえて下さい。
- (3) お申込まいただいた方には、編集委員会で検討の上、あらためて執筆をお願いいたします。その際に執筆要領をお送りします。
- (4) 御提出いただいた論文については、編集委員会で検討し、掲載するか否かを決定します。場合によっては補筆などをお願いすることもあります。
- (5) 大会で自由発表をされる方も、執筆御希望の有無をお知らせ下さい。大会報告と内容が大きくことならない場合には、題目・要旨をあらためてお知らせ下さらなくて結構です。

### 2. 年報第一五集の刊行について

「村落社会研究」第一五集が刊行されました。大会当日会場頒布しますが、郵送を希望される方は、御茶の水書房（東京都千代田

区神田神保町二一三六)に、村研会員と明記して御注文下さい。定価は、四二〇〇円ですが、会員には二割引で頒布します。会員ならばにその周辺の方々が確実に購入して下さることが、年報の発行に必要なことですので、ぜひ購入して下さいますようお願いいたします。本号の内容は昨年の大会の成果を中心にしたつぎの各論文によって構成されています。

### 村落社会研究 第一五集

共通課題「農村自治——史的展開と現状」

1. 佐々木 豊「町村是調査運動と農村自治」
  2. 高木 正明「明治・大正期町村「自治」政策の展開と町村行政担当者」
  3. 岩本 由輝「農村自治と農民運動」
  4. 白樫 久「兼業農民の労働・生活過程と農村自治の変容」
  5. 不破 和彦・新妻 二男  
「労働・農民運動の展開と地域の政治構造」
- 杉岡 直人「生産組織の展開過程」

### 研究動向

1. 大島真理夫「史学・経済史学における研究動向」
2. 大須 真治「経済学における動向」
3. 熊谷 苑子「社会学における研究動向」